



会長挨拶

宮城県交通安全母の会連合会  
会長 佐々木 和恵

はじめに、宮城県交通安全母の会連合会会員の皆様におかれましてはお健やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。

会員の皆様にはコロナ禍の大変厳しい状況の中、「交通安全は茶の間から」をスローガンに年間を通して交通事故防止に全力で取り組まれ、地域の安全、安心な街づくりに御尽力をいただき、心から感謝申し上げます。

また、平素から各地区で警察署、交通安全協会、行政職員皆様方より、母の会会員が事故無く活動が進められるよう、きめ細かな温かい御指導を頂いておりますことにも改めて厚く御礼を申し上げます。

今年度は3年振りに総会も開催することになり、県企画部地域交通政策課職員の皆様方に御尽力をいただきまして充実した総会となりました。また、毎年実施しております高齢者の交通安全教育指導者研修会やリーダー研修会の講話で学んだことを母の会活動に活かしていることにも深く感謝いたしております。

さて、県内の交通情勢につきましては前年より交通事故による死傷者は減少しておりますが、高齢者の死亡事故が多発する傾向が続いておりますし、飲酒運転も根絶に至っていない状況であります。

つきましては、今後も母の会の皆様が地域に密着した活動を展開することにより悲惨な交通事故を防ぎ、多くの命を守ることができるものと確信しておりますので、より一層の御尽力を賜りますようお願いいたします。

結びに、新年度も交通事故の無い明るい地域社会の実現を目指し、益々御健勝で御活躍されますよう、心より祈念申し上げまして挨拶といたします。

宮城県知事表彰受賞者紹介 (敬称略)

多年にわたる母の会の活動をはじめ交通安全活動への多大な貢献により知事から表彰されました。

文化の目表彰

[交通安全功労]



丹野 恵子 (名取市)



鈴木 英子 (多賀城市)



鎌田 裕子 (美里町)

交通安全功労者等表彰

[交通安全功労者]

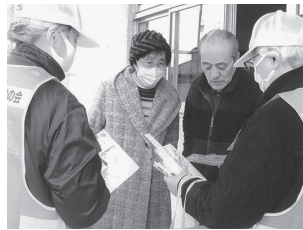
- |               |              |
|---------------|--------------|
| 阿部 豊子 (塩竈市)   | 渡邊 勝子 (多賀城市) |
| 葉坂 美和子 (大河原町) | 高橋 久恵 (大河原町) |
| 小林 いく子 (利府町)  | 伊藤 美枝子 (大衡村) |
| 坂本 小菊 (美里町)   |              |

宮城県交通安全母の会連合会会長表彰  
受賞者紹介 (敬称略)

多年にわたり、母の会の活動に従事し、交通事故防止活動に貢献された方が母の会連合会会長から表彰されました。

- |             |               |
|-------------|---------------|
| 竹田 英子 (仙台市) | 遠藤 八千代 (多賀城市) |
| 中村 洋子 (登米市) | 大平 良子 (涌谷町)   |

高齢者交通安全ふれあい世帯訪問事業



外出時の反射材の活用を呼び掛け

「交通安全はみんなの願い。そして私達一人ひとりが交通安全の主役です。」のスローガンの下、交通事故の無い明るく豊かな地域社会の実現のため、母親の立場から家庭・地域を中心に連携を図り、交通安全に

関する諸活動を展開しています。特に高齢化社会の到来に伴い、地域に密着した交通事故防止活動を積極的に推進しています。その一つが高齢者家庭訪問です。私達母の会は、この家庭訪問を40年以上続けてきましたが、新型コロナウイルス感染予防のため3年ほどできず、昨年から再開することにしました。前と同様に二人一組で訪問します。「こんにちは○○さんお元気ですか、お変わりないですか、今日は交通安全の呼び掛けで伺いました。」と声掛けすると、「そう言えば、私この前ね、そこの交差点で危なかったの。」から始まって、次から次へと話が終わらず、コロナなので長居は無用と思いながら話を聞いて、最後に交通安全チラシと安全グッズの反射材を渡しながら「外出する時はこの反射材を身に付けるかバックや靴に付けて運転手さんから見える様にして交通事故に遭わないようにしてくださいね。」と説明し、「近頃オレオレ詐欺も言葉巧みで悪質になっていますから十分に気を付けてください。また、コロナにも注意してください。」と、マスクとウェットティッシュを渡して注意を呼び掛けました。(仙台市若林地区 原谷道子)



久しぶりの高齢者交通安全ふれあい世帯訪問でした

## 東北ブロック交通ボランティア等講習会

令和4年度内閣府主催の交通ボランティア等講習会は、令和4年9月6日盛岡市のマリオス181会議室を会場に11:00~16:15の日程で行われましたが、コロナ感染拡大のため、私たちはオンラインでの参加となりました。

令和2年度福島、令和3年度宮城がオンラインで発表を終えております。今回は宮城から県の交通安全母の会



オンラインでの受講風景

連合会副会長佐々木伸子、会長佐々木和恵の2人がオンラインでそれぞれ色麻町と塩竈市で参加しました。①岩手県遠野市の活動では、飲酒運転根絶、愛の一声運動、馬っ子交通安全(馬車に乗ってのパレード)等の活動を紹介、②山形県米沢市の活動では、新人児童に手作りの連絡帳袋やランドセル用の反射材贈呈等、企業訪問啓発活動等、③秋田県由利本荘市の活動では、市内の保育園、認定こども園に啓発用品を配布、交通安全マスコットの手作り作品を配布する等、それぞれ地域に密着した特色ある活動を各県から紹介いただき大変参考になりました。発表の後、意見交換も活発に行われ、中身の濃い充実した発表を聞くことができました。

内閣府担当の司会者からは、コロナ禍の中でも各県が勇気を持って母の会活動を実践していることに対し、感謝の言葉を沢山頂き、最後に通学路等における交通安全の確保と飲酒運転の根絶に係る緊急対策に基づく施策の進捗状況についての講話があり、閉会となりました。

(会長 佐々木和恵)

## リーダー研修会

令和4年12月20日、県自治会館において、県内母の会のリーダーが交通安全に懸ける決意を確認し合い、交流



各地区母の会リーダーと事務局職員48人が参加

を深め、共通の認識を持って活動できるよう、一堂に会しリーダー研修会が開催されました。始めに、県警察本部交通企画課の富田課長補佐から「交通事故発生状況と交通安全のための知

## 交通事故発生状況

令和4年中の県内の交通事故発生状況は、発生件数及び負傷者数はいずれも前年から減少しました。65歳以上の高齢者の交通事故死者も18人で、前年比で6人減となりましたが、交通事故死者全体に占める割合は約5割と依然として高い割合であり、憂慮すべき状況に変わりはありません。

【交通事故発生状況】

(単位：件、人、%)

区分	発生件数	死亡事故		負傷者		
		件数	死者数	重傷	軽傷	計
令和4年	4,117	37	37	440	4,472	4,912
令和3年	4,286	42	42	484	4,698	5,182
増減	数	-169	-5	-44	-226	-270
	率	-3.9	-11.9	-11.9	-9.1	-4.8

識」と題して講話がありました。交通事故死者の5割以上が高齢者であること。夕暮れ時の交通事故防止として「ラ・ラ・ラ運動」の実施の必要性。次に歩行者保護と正しい横断方法についてでは、車への渡る「合図」と「ありがとう」と「サイン・サンクス運動」を広めることにより、交通安全の輪が広がるのお話でした。最後に、自転車の安全利用として「自転車に乗るならヘルメット!!」令和3年4月1日からヘルメット着用が義務付けられたとのことです。



県内4地区の母の会がそれぞれ活動事例を発表

次に県内4地区から母の会の活動事例の発表がありました。高齢者交通安全啓発活動、飲酒運転根絶キャンペーン、ドライバーに対する啓発活動など各地区共通の活動ではありますが、活動の場所や啓発物品などそれぞれに創意工夫を凝らしたものでした。また、交通死亡事故ゼロ500日間や2500日間達成の地区もあり、私たち交通安全母の会として、今後も油断することなく交通死亡事故ゼロの記録を継続していけるように、交通安全啓発活動に力を入れ、「交通安全は茶の間から」を合い言葉に頑張っていきたいと思ひます。

(副会長 佐々木伸子)

## 飲酒運転根絶啓発活動紹介

大崎・栗原地区連絡協議会では、12月1日を大崎・栗原地区統一「飲酒運転根絶キャンペーン」として取り組んでいます。今回も加美町交通安全母



色麻町・加美町両母の会合同の飲酒運転根絶キャンペーン

の会は役員22人が参加し、色麻町と合同で大型店の入口で、横断幕やのぼり旗を使い「マスク・チラシ」の啓発品を配布しながら、飲酒運転は「しない、させない、許さない」と来店客に呼び掛けました。

また、参加した役員は、勤務する飲食店で来客に啓発品を配って声掛けをし、地区の防犯教室や高齢者のお茶会でも参加者に啓発品を使って「御家族皆さん飲酒運転しないように気を付けてください」とお話ししました。

コロナ禍前は、成人式会場で新成人の皆さんに飲酒運転をしない誓いの署名をお願いしていました。今は実施が難しい状況なので、啓発品のボールペンをお祝いとして配布しています。

なかなか飲酒運転は無くなりません。今後も根絶に向けて啓発活動を続けていきたいと思ひます。

(加美町 木村和子)

## 母の会活動紹介

### 東和町交通安全母の会

令和4年11月24日に、豊齢者交通安全教室を開催しました。当日は、日本交通安全教育普及協会の井澤夕里さ

人を講師にお招きし、自動車シミュレータを活用した危険予測の講話をいただきました。

最初にスクリーンに15人程の人達がドッジボールの様にボールを受け取る場面が映り、「ボールを受け取った人を数えてください。」と指示があり、「何人でしたか？」と聞かれ、ほとんどの人が正解しました。



自動車シミュレーターを活用した危険予測



日本交通安全教育普及協会 井澤氏の講話

「では、後ろの人が入れ替わりましたが、気が付きましたか？」と問われ、気付いた人は1人もいませんでした。目の前の事だけに気を取られ、周りが見えていなかったのです。車の運転にも通じることだと感じました。その後、事例毎にシミュレータを何人かの人達に操作してもら

い、危険予測を行いました。

○交差点の右側のスーパーに入る時

○視界を遮る物のない道での他車との交差（速度の判断）等々。

車を運転しなければ、買い物、病院、生活のあらゆる事が不自由な地域に暮らす私達にとって気付かされることばかりでした。

交通事故は減少傾向にあり、死亡事故も県内では減っていますが、依然として半数以上が豊齢者です。人生の先輩である豊齢者の方々に充実した日々を送っていただくためにも、母の会の啓発活動が実を結び、一件でも交通事故が少なくなることを目指し、活動を続けていきたいと思っています。（登米市東和町 熊谷安子）

## 地区連協議会活動紹介

### 仙台地区連絡協議会

仙台地区連絡協議会は、仙台地区9警察署管内6市5町1村で構成され、地区内の交通事故防止へ向け、「交通安全は茶の間から」を合言葉に活動しています。

令和4年7月29日、塩竈市公民館にて理事会を開催しました。理事会では、前年度の事業・決算報告や今年度の事業計画・予算の承認などを行いました。また、当協議会では、例年、「安全運



地元の交番署員と合同での啓発活動

転支援セミナー」などの研修会を開催していましたが、やむを得ず中止することとし、啓発品を作成し、構成市町村において活用することとしました。交番署員と一緒に「交通安全チラシ入りマスク」を配布しながら、高齢者世帯訪問や自転車の安全利用の呼び掛けなど、啓発に余念のないところもあり、地域によってバラつきが多いことが分かりました。



チラシや啓発品を配布し交通安全を呼び掛け

新型コロナウイルス感染症は、世界中の人々の生活を一変させました。「Withコロナ」から「Afterコロナ」へ。日常に希望が芽吹く春の訪れとともに、飛び跳ねるうさぎのような飛躍の1年を祈念し、コロナ禍以前のような活動ができるようになることを願うばかりです。（名取市 佐藤美代子）

### 仙南地区連絡協議会

令和4年10月19日、蔵王町役場にて当協議会の研修会を開催しました。

研修会では交通安全講話と意見交換を行い、講話には白石警察署交通課長にお越しいただき、県内の交通情勢などのお話のほか、車の運転中に横断歩行者から「先にどうぞ。」とサインされたときはどうすればいいか？という質問に対し、「本来は歩行者優先ですが、ゆっくり進行して大丈夫です。」と丁寧に解説していただきました。また、横断歩行者事故が多いことから、「サイン・サンクス運動」を紹介していただきましたので、私たちもこの運動を広めていきたいと思いました。

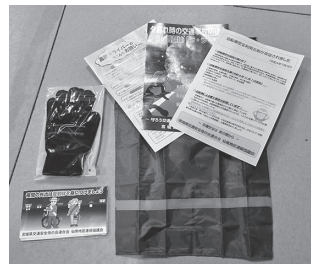
11月14日にはヨークベニマル角田店において啓発活動を行いました。角田警察署交通課長にも御協力いただき、買い物客に向けて反射材付きエコバッグなどを配布し、夕暮れ時の事故防止など声掛けをしました。

各活動をしばらく実施できませんでしたでしたが、令和4年はとても充実した活動を行うことができました。

令和5年は新型コロナも終息に向かい、また、交通事故の被害者となりやすい子どもや高齢者の方が、事故のない安心して暮らしている年になることを願って、引き続き各種活動に取り組んでいきたいと思っています。（亘理町 大河原みつ子）



県内の交通情勢などを講話いただきました



反射エコバッグなどの啓発品を配布

## \*\*\* 春の交通安全県民総ぐるみ運動 \*\*\*

期 間 令和5年5月11日(木)から5月20日(土)までの10日間

交通事故死ゼロを目指す日 5月20日(土)

- 運動の重点
- ① 子どもを始めとする歩行者の安全の確保
  - ② 横断歩行者事故等の防止と安全運転意識の向上
  - ③ 自転車のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底



## 大崎・栗原地区連絡協議会

コロナ禍のため、平成30年以来研修会が開催できませんでしたが、令和4年11月15日、わくや天平の湯において、久しぶりに研修会を開催しました。



わくや天平の湯を会場に研修会を開催

遠田警察署交通課長から「交通安全～発生傾向と事故防止対策～」と題して講話をいただきました。車の構造上、右側のライトが弱いので右側からの歩行者に注意、歩行者は左側に注意して横断すること、ハイビームの活用、横断歩道での歩行者優先、飲酒運転だけでなく二日酔い運転にも注意など、対策が説明されました。

活動事例発表では、涌谷町の活動が報告されました。新入園児・児童への交通安全指導、春・秋の交通安全運動では主要交差点でハンドボードを用いて視覚に訴える活動が写真で紹介され、大変参考になりました。また、ステージではアトラクションに代えて反応速度・俊敏性測定体験が行われ、運転に過信は禁物と気を引き締めました。コロナ禍でも、準備された涌谷町の皆さんが工夫されて、大変有意義な研修会でした。



ステージでは反応速度・俊敏性測定体験も行われた

(加美町 木村和子)

## 登米・本吉地区連絡協議会

令和4年12月9日、南三陸311メモリアル・南三陸ポータルセンターにおいて、登米・本吉地区連絡協議会の研修会を開催しました。



登米・本吉地区連絡協議会研修会での意見交換会

最初に南三陸311メモリアルを見学しました。東日本大震災の現実が、映像の中がありました。救助に関わった当時中学生だった方々。学校の技師で消防団員だった御主人を亡くされた女性。津波に飲まれ、何キロも流され、救助された男性。皆、それぞれに重い口を開いて語られる現実に胸が痛くなる思いでした。

昼食休憩の後、場所をポータルセンターに移し、気仙沼市交通安全母の会と登米市交通安全母の会連合会の意見交換会が行われました。

米山町交通安全母の会の活動状況報告があり、新入学児童・園児への啓発品の配布、交通安全推進キャンペーン、通年の街頭指導等、コロナ禍でも創意工夫をしながら活動している内容でした。意見の中で、人口の減少や高齢化等、活動をどのような形で継続していくべきか、岐路に立たされている等の発言もありました。横断幕やのぼり旗の活用等で、少人数でも出来る活動にするなど、知恵を出し合い、工夫しながら、母の会の活動を継続して行きましようとの意見もありました。地味だけれども地道に「交通安全は茶の間から」。



意見交換会では母の会の活動方法などの意見が交わされた。人口の減少や高齢化等、活動をどのような形で継続していくべきか、岐路に立たされている等の発言もありました。横断幕やのぼり旗の活用等で、少人数でも出来る活動にするなど、知恵を出し合い、工夫しながら、母の会の活動を継続して行きましようとの意見もありました。地味だけれども地道に「交通安全は茶の間から」。

(登米市東和町 熊谷安子)

## 石巻地区連絡協議会

石巻市交通安全母の会では、令和4年度も交通事故を減らすために、様々な活動を行ってきました。

今年度始めの活動は、市内幼稚園を訪問し、交通安全啓発旗の設置や啓発グッズのプレゼント、交通ルールのクイズ等の交流を通して、交通安全の大切さを教えました。また、高齢者世帯への訪問や老人クラブにて交通安全の講話を行うなど、幅広い年齢層に対し交通安全啓発活動を実施しました。



幼稚園に交通安全啓発旗の設置や啓発グッズのプレゼント、交通ルールのクイズ等の交流を通して、交通安全の大切さを教えました。また、高齢者世帯への訪問や老人クラブにて交通安全の講話を行うなど、幅広い年齢層に対し交通安全啓発活動を実施しました。

他にも、飲酒の機会が増える12月にかけて、商業店舗前で飲酒運転根絶キャンペーン（チラシや啓発グッズの配布等）を実施し、飲酒運転の撲滅を呼び掛けたり、市内の



12月の飲酒運転根絶キャンペーン（ヨークベニマル石巻蛇田店・DCMホームマック石巻蛇田店）

交通状況を把握するため、新規道路・施設を見学する視察研修を実施する等の活動を行いました。

石巻市交通安全母の会は、震災により会員が激減してしまいましたが、会員一人ひとりが家庭や地域における交通安全の啓発活動を力強く行っております。特に今年度は新型コロナウイルスの影響により自粛していた活動も徐々に増え、感染予防を徹底した上で積極的に活動しました。

今後も「交通安全は茶の間から」を合言葉に、交通事故のない安全で安心して暮らせる明るい社会を目指し、活動を続けてまいります。

(石巻市 堀川恵美子)

### 第30回 あなたもチャレンジ！無事故無違反

## セーフティ123

あなたもチャレンジ！無事故無違反「セーフティ123」は、3人チームで参加し、123日間の無事故無違反を目指し、交通安全意識の向上を図ることを目的に実施しているキャンペーンです。

無事故無違反達成チームには、抽選で素敵な賞品が当たりますので、職場の仲間、家族、友達、ご近所さん等でひるって参加しましょう。

○募集期間 令和5年5月1日～令和5年6月14日

○チャレンジ期間 令和5年6月15日～令和5年10月15日（123日間）

セーフティドライブ  
賞品ゲット!!!  
(前回の1等賞品はチームに3万円分のQUOカード)

お問い合わせ みやぎ交通安全啓発・実践キャンペーン実行委員会事務局（宮城県企画部地域交通政策課内）  
TEL: 022-211-2438